

ASHIYA BREEZE

六麓荘キャンパスから、未来の私へ、チャンスの風

『芦屋学園スポーツモダンイズムプロジェクト』始動！



百年前、芦屋を含めたエリアに「阪神間モダンイズム」と呼ばれるムーブメントが上質な文化を咲かせました。そして、今、芦屋学園から始まるこの新しいプロジェクトが何を目的とし、どう展開していくのか、芦屋学園高橋征主理事長に伺いました。

芦屋学園スポーツモダンイズムプロジェクトとはどんな構想でしょうか？

20世紀初めの明治・大正時代に、芦屋を含めた阪神間に、「阪神間モダンイズム」と呼ばれる近代的な芸術・文化・生活様式が育まれました。これには当時、国の近代化政策により、大阪の企業家たちが阪神間にこぞって移り住んだという背景があります。本プロジェクトは、100年の時を経て、このエリアに「スポーツ」を文化として根付かせることを目的として起ち上げたものです。

具体的には、どんなことが始まるのですか？

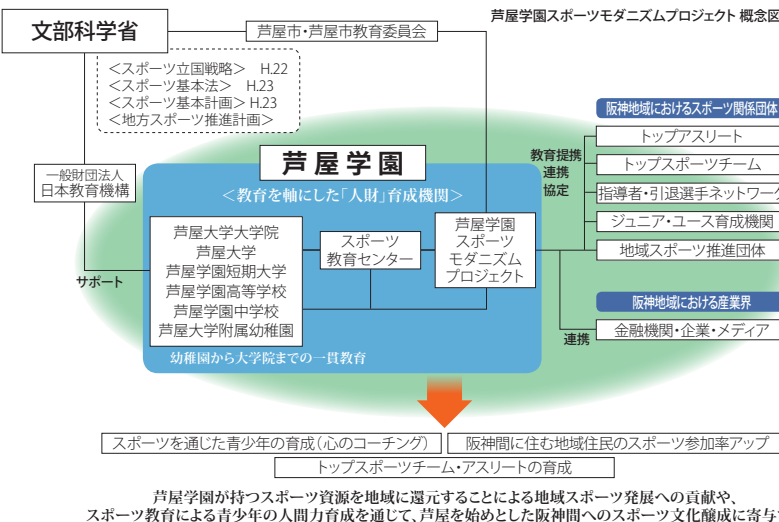
昨年8月に施行された「スポーツ基本法」には、競技水準の向上と地域スポーツの推進との両輪で日本のスポーツの発展を支えるという理念が掲げられています。プロジェクトのグランドデザインとして描いているのは、その理念を、教育機関である芦屋学園が中心となって具現化していくことです。各競技のスポーツ団体や県・市のスポーツ振興団体、そして金融機関・企業・メディアといった産業界ともアライアンスを組みながら、阪神間に「スポーツサポート文化」を醸成していく、同時にそれらの組織化に取り組んでいきます。

その大きなスキームの中で、スポーツはどうか活かされていくのでしょうか？

これは一つの大きな事業です。この事業を通じて、スポーツを活用した心のコーチングを行い、青少年の健全育成に努めていきます。また、スポーツを媒介に、阪神間全体をカバーする横断的・包括的なネットワークを形成し、地域全体としてスポーツをサポートしていく風土と文化を築いていきたいと考えています。

プロジェクトにおける芦屋学園の役割とは？

ハード面では、阪神間のトップスポーツチームならびにトップアスリートとの連携、そしてソフト面では、学園スポーツ教育センターが従来持っているノウハウ・人材に加えて、新たにスポーツ教



育に取り組むための「芦屋学園スポーツエデュケーター」を開設します。心のコーチングなど、スポーツを通じた人材育成を行い、知育・徳育・体育によって人間力あふれる「人財」を社会に輩出することも、スポーツサポート文化の醸成と組織化のために必要となる「場」と「機会」を提供していきます。すでに、昨年11月には関西独立リーグプロ野球球団「兵庫ブルーサンダーズ」と教育提携。また、プ

11/6 第2回 親子スポーツフェスティバル in 芦屋 天日謙作HCと大阪エヴェッサの選手によるバスケットボールクリニック



第1部は低学年と高学年に分かれ、それぞれ福山記念館1階球技場と芦屋学園体育館でクリニックを開催。コーチは芦屋大学客員教授で男子バスケットボール部天日謙作ヘッドコーチと日本プロバスケットボールbjリーグ大阪エヴェッサの北村豪希選手、天野喜崇選手。普段は体験できないプロコーチやプロ選手の指導に、小学生とその保護者、所属クラブチームの方々から感嘆の声が上がり、クリニック終了後には両選手のサイン会も開かれました。午後からの第2部は、会場を大学本館に移し、比嘉センター長とラグビー元日本代表の大八木淳史氏、天日ヘッドコーチによるパネルディスカッションが行われました。



12/18 第3回 親子スポーツフェスティバル in 芦屋 藤沼亜衣さん、羅武漢監督による卓球クリニック



小・中学生や保護者、クラブチームの指導者、シニアの方々まで総勢200名を超える皆様と共に、第1部は福山記念館1階球技場での卓球クリニックを開催。シドニー・アテネオリンピック卓球日本代表選手の藤沼亜衣さんをお招きし、芦屋大学卓球部の羅武漢監督とともに技術指導をしていただきました。午後には藤沼さん、羅監督と大八木淳史氏を交えたパネルディスカッションが比嘉センター長の司会進行で開催されました。

藤沼亜衣さん(左)羅武漢監督・元中国ナショナルチーム代表選手(右)



10/2 第1部は芦屋浜にある芦屋学園総合運動場において、ラグビー元日本代表の大八木淳史氏によるラグビークリニックを開催。芦屋市を中心に、幼稚園から小学校6年生までのラグビースクールに通う子どもたちと、保護者・指導者の方々と合わせて約400名の皆様にご参加いただきました。練習後、学年ごとに選ばれた当日のMVPの表彰を行い、会場は拍手に包まれました。第2部は場所を芦屋学園中学校・高等学校に移し、食堂でのレセプションに続いて、3階ホールで「芦屋スポーツスタディ アスリートへの心のコーチングセミナー」を開催。比嘉悟教授(学園スポーツ教育センター長)と大八木氏の熱い思いのこもった講演に保護者・指導者の方々も熱心に聞き入っておられました。

芦屋大学と「兵庫ブルーサンダーズ」が教育提携



次回の親子スポーツフェスティバルは1月29日、柳本晶一芦屋大学特任教授によるバレーボールクリニックを予定しています。ご期待ください！



みんな笑顔の3日間 第44回「芦屋学園祭」開催

模擬店やステージでお祭りムード満開！

例年通り学園合同の開会式からスタートした学園祭。1日目は音楽表現ゼミナールによるピアノコンサートや、学生主催の立食パーティ。人気のカラオケ大会では、次々と自慢の歌声を披露して大盛況でした。

2日目の注目イベントは、学生ホールで行われた「芦大キャンパスMs.Mr.No.1コンテスト」。第2回目となる今年も、大変な盛り上がりを見せました。また同ホールでは有志によるバンド演奏会も開催。毎年大人気のお化け屋敷に加え、オーストラリアのレースから帰国したばかりのソーラーカープロジェクトによる「芦屋 Sky Ace QUAD（鈴鹿大会2連覇達成車両）」の展示も人気を集めていました。

最終日は福山記念館1階大ホールでの演芸大会。「みんなで助け合う事により生まれる最高の笑顔」をメインテーマとし、様々なパフォーマンスや5人1組で行うアート伝言ゲームなどで笑顔の花を咲かせました。



練習の成果を発揮した合唱やスピーチコンテスト

初日はクラス単位での「合唱コンクール」や英語を使った「スピーチ・レシーションコンテスト」。

2日目の模擬店や展示も大にぎわい。特に各クラブによる楽しいゲームの模擬店は、子どもから大人まで多くのお客さんがつめかけました。

3日目は、「文化・クラブ発表会」を開催。ダンス部による第24回全日本高校・大学ダンスフェスティバル入選作品「火の神」を筆頭に、箏曲、長唄やバントントワーリング、吹



初日は各種表彰や報告会の後、「KDKファッションランプリ」入選作品の披露とファッションショーを開催。豪華景品が当たるビンゴゲームで会場は一気にヒートアップしました。

2日目は生活創造学科調理師コースの学生たちによる恒例の「芦屋カレッジレストラン」がオープン。売上の一部を東日本大



震災の義援金にあてた今年のメニューは「フレッシュサイモンと帆立貝のテリーヌ」「牛フィレ肉のロースト」「ス風野菜の詰め物を添えて」「フルーツとマスカルポーネチーズのタルト」「コーヒーパーン」という本格フレンチ。限定100食の食券は瞬く間に売り切れました。

楽しいお店がいっぱい

30日、幼稚園のバザーでは、保護者の方々のご協力で「たこ焼き屋さん」「フライドポテト屋さん」「チキンナゲット屋さん」「ゲーム屋さん



ん」などのお店がオープン。たくさんのご家族や卒園生が訪れ、園内には笑顔があふれていました。



10/30 芦屋カレッジ同窓会ホームカミングデー開催

「芦屋学園祭」の2日目、福山記念館A・Bホールにおいて芦屋カレッジ同窓会総会および「ホームカミングデー」が開催され、懐かしい顔ぶれとの再会を楽しみながら記念撮影や昼食会が和やかに行われました。



News Flash

「紅茶やスコーンで文化を学ぶ」

10月5日・12日、11月9日●芦屋学園短期大学 幼児教育学科2年生は、芦屋の紅茶・中国茶専門店「ウーフ」の大西泰宏さんによる紅茶のレクチャーを、また生活創造学科は、Jo Bradburn講師から、スコーン作りを学びました。楽しいティータイムの後、神戸ユニオン教会専任牧師 Bruce Bradburn 講師からニュージーランドの地理、産業、文化について学び、異文化理解を深めました。



芦屋大学公開講座

東日本大震災と阪神・淡路大震災の復興と支援を考える

11月5日、12月3日●芦屋大学

3月に発生した東日本大震災を受け、全4回の公開講座を開催。「原子力や放射能の基礎知識(第1回)から、「企業の再生に見る復興経済(第2回)」、「韓国から見た国際的影響(第3回)」、最終日の「震災支援と心のケア」まで、阪神・淡路大震災での経験をふまえて6名の本学教員が講義。芦屋市を中心に多くの方が参加され、専門家による考察に熱心に耳を傾けておられました。



「税に関する作文」で3名が受賞

11月11日●芦屋学園高等学校 「税を考える週間」に向けた作文コンクールで、約1万5千編の応募の中から学園高校1年生の牟田真彬君、布野亜侑美さん、山崎功士郎君が受賞。芦屋税務署長賞を受賞した牟田君は神戸税務署長との座談会にも参加し「税金はまず被災地の復興に使って欲しい」と積極的に発言しました。

レクリエーション部

A・Pプロジェクトに義援金を寄付

11月28日●芦屋学園短期大学 レクリエーション部は、芦屋学園祭の模擬店で、障害者就労支援施設から取り寄せた食パンやクッキー、ラスクの他、芦屋市の東日本震災支援組織「A・Pプロジェクト」のチャリティグッズを販売。売上金全額を「A・Pプロジェクト」に寄付し、本学にて贈呈式が行われました。



世界最大級のソーラーカーレース WORLD SOLAR CHALLENGE 強豪チームを抑え、4位でゴール!!



大会規格変更の影響で新型車両によるチャレンジとなった芦屋大学ソーラーカープロジェクトですが、天候不良や山火事(ブッシュファイヤー)、後輪のパンクなど様々な困難を乗り越えながら、レース6日目の午後4時過ぎに見事4位でゴール。07年大会でクラス優勝の経験があるだけに悔しさも残りますが、新車のポテンシャルに確かな手応えを感じたメンバーたち。次回大会への参加、優勝を胸に誓いました。

大会規格変更の影響で新型車両によるチャレンジとなった芦屋大学ソーラーカープロジェクトですが、天候不良や山火事(ブッシュファイヤー)、後輪のパンクなど様々な困難を乗り越えながら、レース6日目の午後4時過ぎに見事4位でゴール。07年大会でクラス優勝の経験があるだけに悔しさも残りますが、新車のポテンシャルに確かな手応えを感じたメンバーたち。次回大会への参加、優勝を胸に誓いました。

3021kmを6日間で走破!
2年に1度オーストラリアで開催される、世界で最も過酷で権威あるソーラーカーレース「ワールドソーラー・チャレンジ」。24年目となる今年は10月16日から23日の1週間開催され、世界中の企業や大学などから総勢37チームが参加しました。
レースは大陸北端の町ダーウインから南端のアデレードまでの3021km。
芦屋Sky Ace FIVE



芦屋大学にボランティア部を作ろうと友人たちと活動に励んでいる岡田健汰君(国際コミュニケーション教育科1年)は、9月3日から3日間の東日本大震災ボランティア活動に参加(2名)しました。このほか、10月2日、芦屋市川西運動場で開催された「第39回高齢者スポーツ大会」には用具係(9名)として参加。10月9日の「あしや秋まつり」ではパンフレット配布やゴミ回収(5名)を行い、11月20日の「神戸マラソン」でも、コース設置作業(5名)に従事するなど、友人たちと共に地域の活動にも進んで参加しています。岡田君は「ボランティアで助け合いや仲間の大切さを知った。まずはサークルに、来年は正式な部に昇格したい。」と抱負を語ってくれました。



また、11月1日、姫路市峰相小学校で「動物介在教育」に参加した新田耕平君(児童教育学科2年)も「やりがいを感じ勉強にもなる。機会があればまた参加したい。」と意欲的。今、ボランティアの輪が広がっています。



ボランテティア活動に取り組んでいます
また、11月1日、姫路市峰相小学校で「動物介在教育」に参加した新田耕平君(児童教育学科2年)も「やりがいを感じ勉強にもなる。機会があればまた参加したい。」と意欲的。今、ボランティアの輪が広がっています。

また、11月1日、姫路市峰相小学校で「動物介在教育」に参加した新田耕平君(児童教育学科2年)も「やりがいを感じ勉強にもなる。機会があればまた参加したい。」と意欲的。今、ボランティアの輪が広がっています。



年少組の親子競技「大玉転がし」とオペレッタ「赤ずきん」では、可愛い演技に観客席から大きな拍手と声援が贈られ、また年中組のかけっこ競争やスカーフとバルーンの演技「フックとオンアメリカ」では、会場が大いに沸きました。年長組はオープニングの鼓隊ラッグの演技の後、白熱

11月13日、園児たちが待ちに待った幼稚園の運動会が鼓隊とフラッグの行進からスタートしました。福山記念館1階球技場いっぱいの大観衆に囲まれ、最初は少し緊張気味だった園児たちも、プログラムの進行とともに元気な笑顔がはじけていました。
年少組の親子競技「大玉転がし」とオペレッタ「赤ずきん」では、可愛い演技に観客席から大きな拍手と声援が贈られ、また年中組のかけっこ競争やスカーフとバルーンの演技「フックとオンアメリカ」では、会場が大いに沸きました。年長組はオープニングの鼓隊ラッグの演技の後、白熱

秋晴れの空に歓声! 幼稚園「秋季運動会」

**高等学校軟式野球部が県大会初優勝
秋季近畿大会では堂々のベスト4!**
10月16日に兵庫県三木市で行われた「秋季兵庫県高校軟式野球大会」において、念願の初優勝を飾った本校軟式野球部は、奈良県で11月4日から4日間開催された「秋季近畿大会」に出場し、見事準決勝まで進みました。全ての試合を終えた主将の山川和太君は「実績のない部ですが、『やらされる野球』自分でやる野球へと考え方を変え、チームが同じ目標を持って努力

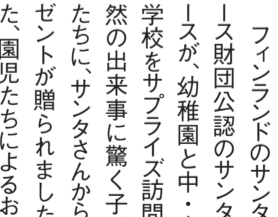
のリレー、そして運動会のラストを飾る大迫力の和太鼓の演技「Hey and」を披露。その真剣な姿にあちらこちらで感動の涙を流しておられる保護者の姿も見られました。頑張った子どもたちへは会場からの温かい拍手と運動会の金メダルがひとりひとり贈られました!!

日頃の練習の成果で勝ち取りました!
芦屋学園高等学校
女子硬式テニス部
10月22日 兵庫県高等学校対抗テニス大会 第5位
女子バレー部
11月5・6日 全日本バレーボール高等学校選手権大会 兵庫県予選大会 ベスト16
芦屋大学
日本拳法部
10月2日 第37回日本拳法龍峰杯優勝大会 三段の部 第三位 森岡 佑介さん(経営教育学科1年)
柔道部
10月10日 第11回芦屋柔道大会
団体一般男子の部 優勝
団体一般女子の部 優勝
個人一般男子初段の部 優勝 西林洋さん(教育学科1年)
個人一般女子の部 優勝 鳥谷彩可さん(教育学科2年)
男子バスケットボール部
10月16日 関西学生バスケットボールリーグ戦 6部B優勝

セント・マーチンズ大学より訪問団
12月12日●芦屋大学
2008年から提携関係にあり、2009年以降6名の語学留学生を本学から派遣しているアメリカ合衆国ワシントン州のセント・マーチンズ大学より、リック・パノウィック理事長ご夫妻、ロイ・ヘンドリックス学長ご夫妻、ジョセフィン・ヤン国際部部長の5名が来学されました。提携関係延長の調印セレモニーの後、ソーラーカーに興味を示された一行を車庫に案内し、ソーラーカープロジェクトのメンバーが車両の説明をする場面もありました。

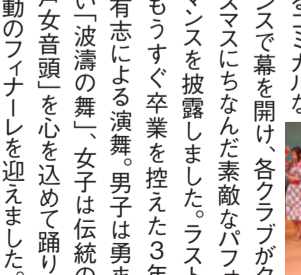


サンタクロースがやってきた!
12月2日●芦屋大学附属幼稚園
●芦屋学園中学校・高等学校
フィンランドのサンタクロース財団公認のサンタクロースが、幼稚園と中・高等学校をサプライズ訪問。突然の出来事に驚く子どもたちに、サンタさんからプレゼントが贈られました。また、園児たちによるお返し



の歌「あわてんぼうのサンタクロース」を聞いたサンタさんが踊り出すなど、楽しいひとコマも。今回のサンタ訪問のキッカケは、中学校1年生が美術の授業で描いたサンタクロースの絵とメッセージでした。これをフィンランドへ送ろうとフィンランド航空に託したところ、先方のご厚意により、毎年本国から招いているサンタクロースが本校を訪問してくださる運びになりました。一足早いクリスマスプレゼントに、子どもたちは大喜びでした。

『卒業記念発表会』が開催されました。
12月17日●芦屋学園高等学校
2学期も残りわずかとなったこの日、芦屋ルナ・ホールにおいて「卒業記念発表会」が開催されました。ステージは1年生による「コミカルなダンスで幕を開け、各クラブがクリスマスにちなんだ素敵なパフォーマンスを披露しました。ラストはもうすぐ卒業を控えた3年生有志による演舞。男子は勇ましい「波瀾の舞」、女子は伝統的「若女音頭」を心を込めて踊り、感動のフィナーレを迎えました。





芦屋大学大学院 <http://www.ashiya-u.ac.jp/section/graduate>
 芦屋大学 <http://www.ashiya-u.ac.jp>
 芦屋学園短期大学 <http://www.ashiya-c.ac.jp>
 芦屋学園中学校・高等学校 <http://www.ashiya.ed.jp>
 芦屋大学附属幼稚園 <http://www.ashiya-k.ed.jp>

学校法人
芦屋学園
<http://www.ashiya-e.jp>

日本初!

芦屋大学で学びながらプロ野球選手を目指す! 教員を目指す!
関西独立リーグプロ野球球団「兵庫ブルーサンダーズ」と
芦屋大学が今春より教育提携!

日本で初めて大学と独立リーグプロ野球球団との提携が実現。スポーツを通して、高い人間力を備えた指導者の養成を目指す芦屋大学では、「芦屋学園スポーツモダンイズムプロジェクト」の一環として、平成24年度から「兵庫ブルーサンダーズ」との教育提携を決定しました。これにより芦屋大学に同球団の2軍を創設。大学で学びながら2軍に所属し、元プロ野球選手

の池内豊球団監督、山崎章弘同コーチの指導を受けることができます。1軍登録されれば、関西独立リーグ等の試合出場も可能。また、教員免許状や日本体育協会認定スポーツ指導員の資格取得を目指すこともでき、発表以来、新聞各紙でも取り上げられ大きな注目を集めています。



12月恒例の幼稚園作品展が開かれ、園児たちの想像力豊かな可愛い力作が披露されました。年少は紙粘土で表情たつぷりな可愛いお人形作り。赤組は『赤ずきんの森へようこそ』、桃組の『森』は、虫さんの住む街を表現しました。年中はカラフルなフェルトを使った縫いとり制作に挑戦。黄組は『お話の世界』くくるみ割り人形作り、白組は『動物たちの音楽会』の楽しい世界を作り上げました。年長は根気のある作品作りに取り組み、青組は1人が2文字を考えて作る『絆』友達を完成。緑組はミシンや電動ノコを



いつもの幼稚園が、
素敵な美術館に!

12/11

芦屋大学附属幼稚園

2012 (平成24)年度 芦屋学園 各教育機関の入試日程

芦屋大学 大学院

研究科	専攻	課程	入学定員
教育学研究科	教育学専攻	博士前期課程	10名
		博士後期課程	5名
	技術教育専攻	修士課程	5名
		英語英文学教育専攻	修士課程

●お問い合わせ 芦屋大学大学院入学事務局
 〒659-8511 芦屋市六麓荘町13番22号
 TEL:0797(38)6725 FAX:0797(38)6727 ☎0120-898-046

受験資格審査受付期間	出願期間(締切日必着)	試験日(本学)	可否通知発送日	試験日程	選考方法
1月10日(火)～1月20日(金)	2月6日(月)～2月14日(火)	2月22日(水)	2月27日(月)	B日程	出願書類・口頭試問
2月6日(月)～2月17日(金)	2月27日(月)～3月6日(火)	3月14日(水)	3月19日(月)	C日程	出願書類・口頭試問

芦屋大学

募集学部・学科	入学定員	
臨床教育学部	教育学科	70名
	国際コミュニケーション教育科	20名
	児童教育学科	40名
経営教育学部	経営教育学科	120名

●お問い合わせ 芦屋大学入学事務局
 〒659-8511 芦屋市六麓荘町13番22号
 TEL:0797(38)6725 FAX:0797(38)6727 ☎0120-898-046

出願期間(締切日必着)	試験日(本学)	可否通知発送日	入試制度	試験内容
1月23日(月)～1月31日(火)	2月9日(木)	2月15日(水)	教職特待生入試	C日程 学力試験(外国語・国語)・希望調書・面接・書類審査
			教職推薦入試	C日程 希望調書・面接・書類審査
			一般入試 I (自己アピール型)	A日程 小論文・面接・自己アピール書・調査書
			一般入試 II (学業特待生選考)	A日程 学力試験(外国語・国語)・面接・調査書
1月30日(月)～2月9日(木)	2月15日(水)	2月22日(水)	スポーツ特待生入試	C日程 実技・面接・書類審査
			編入学スポーツ特待生入試	C日程 実技・面接・書類審査
1月30日(月)～2月10日(金)	2月17日(金)	2月24日(金)	編入学入試	C日程 小論文・面接・書類審査
			編入学教職特待生入試	C日程 小論文・面接(口頭試問)・書類審査
3月12日(月)～3月17日(土)	3月22日(木)	3月26日(月)	教職特待生入試	D日程 学力試験(外国語・国語)・希望調書・面接・書類審査
			教職推薦入試	D日程 希望調書・面接・書類審査
			一般入試 I (自己アピール型)	B日程 小論文・面接・自己アピール書・調査書
			一般入試 II	B日程 小論文・面接・自己アピール書・調査書
			一般入試 II (学業特待生選考)	B日程 学力試験(外国語・国語)・面接・調査書

芦屋学園短期大学

募集学科	入学定員
幼児教育学科	50名

●お問い合わせ 芦屋学園短期大学入学事務局
 〒659-8511 芦屋市六麓荘町13番22号
 TEL:0797(38)6726 FAX:0797(38)6727 ☎0120-898-065

出願期間(締切日必着)	試験日(本学)	可否通知発送日	入試制度	試験内容
1月16日(月)～1月27日(金)	2月4日(土)	2月9日(木)	指定校推薦入学試験	C日程
			推薦入学試験	C日程 小論文・面接・書類審査
			一般入学試験	A日程
2月27日(月)～3月9日(金)	3月17日(土)	3月22日(木)	一般入学試験	B日程
			社会人入学試験	B日程 小論文・面接・書類審査

芦屋学園高等学校

募集学科	募集人員	コース
普通科(男女)	120名	特進コース
		総合コース
		アスリート(スポーツ)コース
国際文化科(男女)	120名	国際特進グローバルコミュニケーション(GLB)コース 国際特進インテンシブ(INT)コース

	出願期間	入試日	合格発表※
1次試験	1月18日(水)～1月31日(火)	2月10日(金)・11日(土祝)	2月13日(月)
1.5次試験	2月13日(月)～2月16日(木)	2月17日(金)	2月18日(土)

※郵送により通知

芦屋学園中学校

募集コース	募集人員
中高一貫コース(男女)	40名
国際文化グローバルアンビション(GLA)コース(男女)	40名

出願期間	入試日	合格発表※
B日程 1月15日(日)まで	1月15日(日)	1月16日(月)
C日程 1月20日(金)まで	1月20日(金)	1月21日(土)

※郵送により通知

●お問い合わせ 芦屋学園中学校・高等学校
 〒659-0011 芦屋市六麓荘町16番18号
 TEL:0797(31)0666 FAX:0797(31)6641 ☎0120-898-075

第7回大阪モーターショーに
新型ソーラーカーを展示

1月20日(金)～23日(月)
 AM10:00～PM6:00(最終日のみPM4:30まで)



インテックス大阪で開催される第7回「大阪モーターショー」に芦屋大学ソーラーカープロジェクトも出展。10月のオーストラリア「ワールド・ソーラー・チャレンジ」を4位で完走した新型車両「芦屋Sky Ace FIVE」を展示します。

編集後記

美しい紅葉の季節を経て、芦屋六麓荘に希望に満ちた新しい年2012年がやってまいりました。この間、学園では第44回芦屋学園祭や幼稚園の運動会が賑やかに開催され、園児・生徒・学生がそれぞれの行事に、精いっぱい取り組んでいる姿はとても爽やかでした。誌面からの感動が少しでも皆さんに伝われば幸いです。今回は、『芦屋学園スポーツモダンイズムプロジェクト』構想をトップニュースとして紹介いたしました。これは本学園が中心となって、各競技スポーツ団体・行政、そして金融機関・企業・メディアといった産業界ともアライアンスを組みながら、阪神間に「スポーツサポート文化」を醸成し、その組織化に取り組む地域貢献事業です。また、大学では新たに、関西独立リーグプロ野球球団「兵庫ブルーサンダーズ」と教育提携し、スポーツを通じた人間教育に力を注いでおります。広報誌「ASHIYA BREEZE」では今後も学園のニュースを皆様にお届けし、卒業生、在校生、保護者の方々、ひいては社会とのネットワーク作りに貢献したいと願っております。掲載されました記事に関するお問い合わせ、ご意見、ご提案などがございましたら、下記学園広報課までご連絡下さい。

ASHIYA BREEZE

発行/学校法人芦屋学園 広報課
 〒659-8511 兵庫県芦屋市六麓荘町13番22号
 TEL 0797-23-0661 FAX 0797-23-1901 メール koho@ashiya-u.ac.jp